

兵庫県洲本市における基本計画の概要

計画のポイント

ものづくり関連企業への事業支援や環境整備を実施し、洲本市内における製造拠点として、付加価値額の増加と地域雇用の拡大を目指すとともに、域内経済の活性化を目指す。

また、農水産分野では、特色ある特産品や地元農水産品を使用した加工食品の生産を拡大し、製品を販売する6次産業化を進め、農水産品のブランド化を推進する。さらに、京阪神や四国へのアクセス性が高いという地理的条件を活かし、物流関係産業の誘致を図るとともに、洲本温泉や洲本城、すもとアルファビアミュージアムなどの歴史文化遺産の観光資源を活用し、自然や食、歴史などに触れる集客イベントにより観光入込客を拡大し、交流人口の増加を目指す。

促進区域

兵庫県洲本市

経済的効果の目標

1件あたり平均5,380万円の付加価値額を創出する地域経済牽引事業を3件創出し、これらの地域経済牽引事業が促進区域で1.41倍の波及効果を与え、促進区域で2.3億円の付加価値を創出することを目指す。

地域経済牽引事業の承認要件

【要件1：地域の特性を活用すること】

- ① 洲本市を通る神戸淡路鳴門自動車道等の交通インフラを活用したまちづくり分野
- ② 洲本市の玉ねぎや肉用牛、さわら等の特産品を活用した農水産、地域商社分野
- ③ 洲本市の宿泊施設や温泉、洲本城や大浜公園等の観光資源を活用した観光分野
- ④ 洲本市の生産用機械器具製造業、電気機械器具製造業等の産業の集積を活用した成長ものづくり分野

【要件2：高い付加価値を創出すること】

- ・付加価値増加分：5,380万円超

【要件3：いずれかの経済的効果が見込まれること】

- 売上：1%以上増加
- 雇用者数：1%以上増加
- 雇用者給与等支給額：3%以上増加

制度・事業環境の整備

固定資産税の減免措置、兵庫県産業立地条例の活用、オープンデータの推進、非識別加工情報の提供、企業誘致活動の推進、兵庫県等の立地インセンティブの活用による企業立地の促進など

地域経済牽引支援機関

公益財団法人ひょうご産業活性化センター、兵庫県立工業技術センター、兵庫県立ものづくり大学校姫路職業能力開発校、洲本商工会議所及び五色町商工会、市内金融機関（株式会社三井住友銀行、株式会社みなと銀行、株式会社徳島銀行、淡路信用金庫、淡陽信用組合）

《促進区域図》



《洲本城と市街地》



《洲本市の特産物》



計画期間

計画同意の日から平成35年度末日まで